

実際に教えるための

外国人日本語教育ボランティア 養成講座

参加費
無料

地域の外国人が外国人に日本語を教えることで、
働きやすく、そして地域社会とつながりやすくなるようサポートします

養成講座

会社や工場などで教えます

- ・仕事の日本語
- ・生活の日本語

外国人の日本語キーパーソン

日本語
JAPANESE

日本語
JAPANESE

地域で教えます
日本語・生活サポート教室

地域に住む外国人に次のようなサポートをする外国人の日本語キーパーソンを養成する講座です

- ★ 日本語を教えます
- ★ 日本で生活するために役立つ基本の知識を教えます
- ★ 地域のコミュニティと外国人のつながり作りをサポートします

日時：2021年7月18日（日）～ 11月14日（日） 2週間に1回行います

全11回 詳細は裏面を参照ください。

日本語講師：正田江利子（日本語教師、日本語教育能力検定合格、多文化共生推進士）

参加対象：ポルトガル語、ベトナム語、中国語、タガログ語、スペイン語などを母語とし、
日本語ができる外国人

（日本語能力試験N2程度以上、またはこの案内を読めて理解できればOKです）

定員：15名

場所：伊勢崎市絃の郷（伊勢崎市昭和町1712-2）、伊勢崎市民プラザ（伊勢崎市富塚町220-13）

伊勢崎市境総合文化センター（伊勢崎市境木島818）詳細は裏面を参照ください

問い合わせ・申し込み先：申し込み締め切りは、7月14日（水）です。

定員になり次第 締め切りとさせていただきます。

お名前、住所、電話番号、メールアドレス、職業もしくは所属、母語、国籍を添え、お申し込み下さい

Email: jp.ed.gcommunity@gmail.com 電話：070-5021-9103（本堂）



主催：群馬県 委託先実施団体：NPO法人 Gコミュニティ

文化庁 令和3年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 活用



スケジュールと講義内容

(内容を変更することがあります)

時間: 第1回～第9回は 13:30～17:30、第10回～第11回は 14:00～16:00

第1回 7月18日(日)

伊勢崎市民プラザ

第1実習室+第2実習室

*講師: 三石哲也

(行政書士 三石事務所)

- ・群馬県における在住外国人および外国人材の受入れの現状と課題*
- ・在留資格について*
- ・外国人日本語キーパーソンの意義、役割、心構え
- ・日本人と外国人をつなぐ「やさしい日本語」と活用(専門用語のリライト等)
- 【活動】 聴き方、伝え方、対話の仕方

第2回 8月1日(日)

伊勢崎市紺の郷

市民交流館 セミナー室

- ・日本語指導者としての心構え
- ・在住外国人の様々な日本語学習の目的と日本語および指導の違い
- ・世界の言語から見た日本語の特徴
- 【活動】 Web会議サービス(ZOOM)、ビジネスチャットツールの使い方

第3回 8月15日(日)

伊勢崎市紺の郷

市民交流館 第6会議室

- ・コースデザインの立て方とPDCA
- ・教材研究(様々な教材・教具と使い方)
- ・メディア教材等の活用と著作権
- ・教材や指導で使われる用語
- 【活動】 オリジナル副教材を作ってみる

第4回 8月29日(日)

伊勢崎市紺の郷

市民交流館 セミナー室

- ・日本語レベルの分け方と基本的な授業デザイン(組み立て方)
- ・初級～初中級レベルの教え方
- ・いろいろな練習
- 【活動】 初級の語彙／文型を教えてみる

第5回 9月5日(日)

伊勢崎市紺の郷

市民交流館 セミナー室

- ・中級レベル以上の教え方
- ・日本語能力試験と技能別指導について
- 【活動】 類似表現・文型の違いを考える
- ★ 模擬授業課題提示: 次回までに各自授業案を考えてくる

第6回 9月19日(日)

伊勢崎市民プラザ

第1実習室+第2実習室

- ・大人に対する日本語の教え方
- ・企業や工場で働く外国人の支援に関する知識・技能
- 【活動】 敬語の知識を整理する
- ★ 模擬授業の準備

第7回 10月3日(日)

伊勢崎市境総合文化センター

大会議室

- ・子どもたちへの日本語の教え方
- ・地域の日本語教室の運営について
- ・実際の日本語教室の外国人キーパーソンの体験講話
- ★ 模擬授業の準備

第8回 10月17日(日)

伊勢崎市民プラザ

第1実習室+第2実習室

- ・評価と報告(企業担当者、保護者)のしかた
- ・社会制度、社会生活の基礎知識
- ★ 模擬授業の準備および練習

第9回 10月31日(日)

伊勢崎市民プラザ

第1実習室+第2実習室

- ・模擬授業(リハーサルと本番)
- ・フィードバック(学習者と実施者の感想)
- ・講座のまとめ

第10回 11月7日(日)

- ・企業での実践 (14:00～16:00)

第11回 11月14日(日)

- ・企業での実践 (14:00～16:00)



マスクを
してください



体温をはかって
ください

外国人日本語教育ボランティア養成事業 アンケート結果

アンケート結果：

(1) 講座開催情報の入手経路

「知人・友人から」が多く 46%である。外国人の場合、クチコミで伝わる人が多いことを示している。
他の経路は、フェイスブック(NPO)、ホームページ(NPO)、チラシなどである。

(2) 評価及び主なコメント

満足度

回ごとのアンケート回収数にばらつきはあるが、「大変よかった」が多数を占めている。

第 10～第 11 回は模擬授業を行い、席上で意見を述べ合ったのでアンケート回答は少ないが、
席上の意見・感想は大変好評であった。

件数。()は回収数に占める比率%

講義回	大変よかった	よかった	ふつう	よくなかった	どちらともいえない
第 1 回	7(64)	3(27)	1(9)	-	-
第 2 回	6(60)	3(30)	1(10)	-	-
第 3 回(オンライン)	5(63)	3(38)	-	-	-
第 4 回(オンライン)	6(75)	2(25)	-	-	-
第 5 回(オンライン)	3(50)	3(50)	-	-	-
第 6 回(オンライン)	3(75)	1(25)	-	-	-
第 7 回(オンライン)	3(50)	3(50)	-	-	-
第 8 回	4(67)	2(33)	-	-	-
第 9 回	8(100)	-	-	-	-
第 10 回	3(100)	-	-	-	-

第 11 回は、意見を述べ合い、アンケート回収は無し。

主なコメント

【第 1 回講義】

良かった点...

- ・具体例などが多く、わかりやすかった。
- ・在留資格について学べた。
- ・やさしい日本語について考えることができた。
- ・外国人キーパーソンとしての「外国人日本語教育ボランティア」の「考え方、伝え方、心構え」などを考えることができた。

要望...

- ・制度などの幅広い知識や情報を取得できるようにしてほしい。

講座で今後取り上げてほしいテーマ...

- ・コミュニティの形成方法など。
- ・在留資格に関連し、帰化取得について。

【第2回】

良かった点...

- ・SLACKについて初めて知り、とてもよかった。使えるようになりたい。
- ・講師が一方的に話すのではなく、聞いている側も話ができる参加型の講義だったのでとても良かった。
- ・ZOOMの応用の講義がすごく勉強になった。

要望...

- ・ZOOMやSLACKを実際にセミナーの中でホストとしてやってみたい。
- ・もっと受講者は宿題をやってきてほしかった。すごく時間がかかっていたと思う。

講座で今後取り上げてほしいテーマ...

- ・日本語教育の教材について。
- ・日本語能力試験向けの勉強会など。

その他意見など...

- ・「やさしい日本語」の宿題を行う際に、どの程度の日本語を使えばよいかわからないので、N4・N5レベルの日本語について教えてほしい。

【第3回(オンライン)】

良かった点...

- ・コースデザインをするのは大切なことだと理解できた。日本人にベトナム語を教えることとベトナム人の友だちに日本語を教えることの経験があったが、その時は、コースデザインnことは全く知らなかった。学習者からわからないことを聞かれ、ただ説明してあげただけで、学習者の学習目的などを考えることはしなかったことに気付いた。最初から、学習者について知り、学習者がどのように必要なスキルを身に付けるか適切な教授法を行うのは学習には効率的なことだと思った。
- ・世界の言語から見た日本語の特徴が勉強になった。
- ・ZOOMでみんなの顔が見えていたので、教室にいる時よりみんなと一緒にいる感じがした。
- ・文法と発音の講義はとても良かった。特に自分は発音が良くないので、とても役に立つ。
- ・コロナ禍でもZOOMなどで学習できることがよかった。人と話すことが苦手な自分にとっては、このような形式で学べるのが良かった。
- ・ZOOMのブレイクアウトルームは特に良い。他のメンバーと顔を見ながら話をするのは本当に楽しかった。

要望...

- ・グループワークで意見交換ができ、とてもよかったが、意見交換する時間が短かった。もう

少し時間を延ばしてほしい。

・ビジネスの中の日本語の使い方。

・学校と事務所と工場で話す日本語は違いがあると思う。それを学びたい。

講座で今後取り上げてほしいテーマ...

・工場の現場を想定した会話や表現についてデモンストレーションや練習をすること。

その他意見など...

・実際に困っている現場の日本人と外国人労働者(リーダー、班長、係長、現場の外国人の通訳など)のなまの声を聞くと良い。

【第4回(オンライン)】

良かった点...

・大事なところを学習者に確認しながら進めたこと。

・新しい情報 OJAD について初めて知った。

・クラスのレベル設定のやり方とテストレベルの判断。

・多くの教材を知ることができること。

・カリキュラムの作り方や日本語教室ニーズ調査シートや授業計画書について学べた。

・宿題を通して、授業を始める前の準備がいかに大切かを理解できた。

要望...

・宿題について、次回の始めに、(短い時間で)一言コメントとか共通点を講師側からアドバイスを言ってくれるなど。

・普段慣れていないカタカナ語がたくさん出てくるので、「コースデザイン」、「授業デザイン」、「教案の違い」について、もっとわかりやすい言葉で教えてほしい。

その他意見など...

・各国の学習者が参加しているので、日本での日本語の指導の仕方の疑問などを、気軽に聞き合えたらいいなと思う。

・工場で目上の人と打合せをする場面を想定した参加者同士の演習があると良い。参加者は敬語を使う機会が少ないと思うので。

・もっと参加者と意見交換できると良い。

【第5回(オンライン)】

良かった点...

・講義を聴いて、話し合ってから、2,3人で宿題をもとに話し合ったこと。そしてそれらを発表し合ったこと。

・様々なドリルと練習の仕方。

・日本語を初めて学ぶとき、学習の順番がとても大切であること。

・実際に授業を行うための実践的な内容が多かったこと。

要望...

・文法について自分の母国語と日本語の違いがあるが、他の言語でどうなのかとても知りたく

なった。また、時間が限られている中、難しいと思うが、それについて話し合えると良い。

- ・対面講座ができるようになったら、教材の現物を少しずつ紹介してほしい。例えば、子ども向けの教材、文字だけについての教材など。

- ・もっと参加している皆さんと情報交換をしたい。

- ・資料の中に初めて聞く表現が出てくるので、やさしい日本語で教えてほしい。

- ・オンライン講座になってしまったので難しいと思うが、もっと意見を述べる機会や話し合う機会があると良い。

- ・実際に企業で働いている外国人に教えている様子を見たい。

講座で今後取り上げてほしいテーマ...

- ・異文化の考え方の違い。

【第6回(オンライン)】

良かった点...

- ・宿題について、間違ったところを細かく直していただき、理解できた。

- ・教案について、講師が直してくれたので教案の流れが分かりやすくなった。

- ・前回の課題について、グループ別に話し合い、改善し合ったこと。

要望...

- ・教材研究や指導計画の書き方など。

- ・日本語を勉強したことのない外国人向けに、地域の日本語教室で使える教案を教えて欲しい。

講座で今後取り上げてほしいテーマ...

- ・支援の必要な外国につながる子どもへのサポート。

その他意見など...

- ・講座に参加している皆さんと意見交換をしたい。

【第7回(オンライン)】

良かった点...

- ・他の皆さんと日本語の教え方についての考え方を共有することができ、とてもよかった。皆さんからの様々な教え方を参考にし、自分の作った指導案の不十分な部分を補うという、とても意味のあることができた。

- ・今回の講義の、社会制度・社会生活の知識が、大変勉強になった。

- ・日本語教育の講座について、実践的な内容が今後の容が多く、すぐに生かせる点がたくさんある。講師の説明がわかりやすく、なんとかついていけた。大変勉強になる。

- ・宿題について、よくできていた人のものを実際に説明されながら見ることで、自分にはなかったアイデアや工夫を知ることができた。次回からの課題や今後のボランティア活動に役立てたい。

要望...

- ・会社、工場で働いている外国人が必要な用語のリストの作成。

- ・実際に工場で働く外国人には、日本人の曖昧さとかだけた言い方についてよくわからない。日本語指導者が学習者からそれについて聞かれた時の教え方が講座にあるとよい。

- ・早く対面での講座に戻ってほしい。
- ・授業内で起こる可能性のあるハプニングや事故のようなものについて、また、対処法について詳しく話していただきたい。

講座で今後取り上げてほしいテーマ...

- ・日本人と外国人の考え方(例えば、時間、集団行動など)。
- ・企業の社長さんから、外国人労働者についての話。
- ・日本語が十分に話せない工場で働く外国人に、実際にどんな時にどんなことに困っているか。

その他意見など...

- ・この講座は11月までだが、勉強を続けられる方法がないだろうか。
- ・もっと参加者と意見交換ができれば良いと思う。

【第8回】

良かった点...

- ・体験談により、子どもへの日本語支援の現状を知ることは勉強になった。
- ・指導案をもとに授業の流れを紹介し合ったこと。学習者の自作の絵がよかった。
- ・他の人の模擬授業を聞くことができた点。
- ・いろいろな日本語支援のあり方や体験談を聞いたこと。

要望...

- ・支援者の勉強の継続。
- ・他の人全員の指導案をもっと聞きたかった。
- ・実際に書くことを増やしたり、実技を増やせたらよい。

【第9回】

良かった点...

- ・実践報告がとてもよかった。実際に行っている人の話は、現場の声が伝わり心に残る。
- ・指導案を書いたことがない受講者も必死に学んだことをもとに学習する姿に励まされた。
- ・日本語教室の運営について、信頼関係が大事であること。
- ・自分の意見を言ったり、相手の意見を聞いたこと。
- ・毎回の資料が大変良かった。いつでも見て勉強をすることができる。

要望...

- ・時間が限られているので難しいが、他の受講者との意見交換などがあると講座の理解ができ、身につくと思う。
- ・講座の開催場所をいつも同じにしてほしい。

講座で今後取り上げてほしいテーマ...

- ・講座がすべて終了した後、第2のセミナー(もう少しゆとりがあり、第1のセミナーの内容にプラス)があるといいなと思う。
- ・オンライン授業について。

【第 10 回】

良かった点...

- ・作成した指導案を実際に行ったのがいい勉強になった。
- ・いろいろな国の受講者と模擬授業の学習者を集めてくれたのは、とても新鮮でよかった。
- ・授業をした後、話し合いが出来たことで感想や意見が聞けた。
- ・次回(最終第 11 回)で、今回の講座を通して良かったこと、学んだこと、発見したこと、これからチャレンジしてみたいことなども、できたらお聞きたい。
- ・実際の生徒を前にすると緊張するが、リアクションが読めない分についてなど、いろいろ事前準備したことで対応できた。、言語の通じない生徒がいたら、さらに準備が必要だと感じた。

講座で今後取り上げてほしいテーマ...

- ・大人や子どもの心のケアをどのようにサポートしていけばよいか。
- ・困っている人の SOS をどのように見分けることができるか。
- ・今回の講座に続く第 2 の日本語教育ボランティア養成講座(もう少し短時間で)。

その他意見など...

- ・今回のセミナーと一緒に学習した方たちとこれからも何らかのつながりを持てるとよい。